

様式第2号 (第5条第2号、第3号関係)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) 支給市区町村書

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) 支給市区町村書

草津 市長宛

市 受付印

1. 届出者

(フリガナ) 氏名 生年月日 現住所

年 月 日 電話 ()

証 書 番 号

※下記の事項に賛約・同意の上、届出します。

2. 新振込先指定口座 (児童扶養手当を受給している本人名義の口座に限ります。)

□ ア 指定の金融機関口座 (原則、1. の届出者の口座とします。) への振込みを希望
※振込先金融機関口座確認書類を添付してください (下欄を確認してください。)

【受取口座記入欄】

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (右詰めでお書きください。)	口座名義 (フリガナのみ)
1. 銀行 2. 金庫 3. 信組 4. 信連 5. 農協 6. 漁協 7. 信連連	本・支店 本・支所 出張所	1普通 2当座		※「1. 届出者」名義に限る。 ※通帳の表記に合わせてください。

※ゆうちょ銀行を選択された場合は、「振込用の店名・預金種目・口座番号 (7桁)」（通帳見開き下部に記載）を御記入ください。
※長期間入出金のない口座を記入しないでください。

□ イ 窓口での現金支給を希望
※金融機関の口座がつかない方等、どうしても口座による受け取りができない方のみとなります。本人確認資料を裏面に添付してください。

【賛約・同意事項】 (チェック欄 [□] に『✓』を入れてください。)

□ 市が支給決定した後、届出書の不備による振込不能等が発生した際に、市が届出者に確認等を行ったにもかかわらず、令和5年3月31日までに支給が完了できない場合は、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) が支給されないことに同意します。

提出書類

□ 『低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) 支給口座登録等の届出書』 (本書)
※ 必要事項を御記入ください。

□ 『受取口座を確認できる書類の写し (コピー)』 (※「2. 新振込先指定口座」で「ア」を選択した場合に限る。)
※ 通帳やキャッシュカードの写し (コピー) など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分の写し (コピー) を御用意ください。

□ 『届出者本人確認書類の写し (コピー)』
※ 届出者の運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード (表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し (コピー) を御用意ください。

様式第3号 (第7条第1項関係)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (ひとり親世帯分) 申請書 (請求書)

草津 市長宛

市 受付印

届出の【賛約・同意事項】に賛約・同意の上、申請します。

1. 申請・請求者

記入日 令和 年 月 日

(フリガナ) 氏名 生年月日 現住所

年 月 日 電話 ()

基礎年金番号 児童の父または母の死亡による遺族補償の受給状況

公的年金受給状況	基礎年金番号 年金コード	児童の父または母の死亡による遺族補償の受給状況
<input type="checkbox"/> 受けることができる (種類:)		<input type="checkbox"/> 受けることができる (種類:)
<input type="checkbox"/> 支給停止 (種類:)		<input type="checkbox"/> 支給停止 (種類:)
<input type="checkbox"/> 受けることができない		<input type="checkbox"/> 受けることができない

※ 「公的年金」とは、「遺族年金 (遺族基礎年金、遺族厚生年金および遺族共済年金を含む。）」、「老齢年金 (老齢基礎年金、老齢厚生年金および退職共済年金を含む。）」、「障害年金 (障害基礎年金、障害厚生年金および障害共済年金を含む。）」、「母子年金」、「恩給」等をいいます。

※ 「受けることができる」とは、現に受けているとき、申請中であるときまたは申請すれば受けることができる状態にあるときをいいます。

2. 監護等児童

令和5年2月29日時点で児童扶養手当の支給要件に該当する児童について記載してください。

No.	(フリガナ) 氏名	続柄	性別	障害の有無	生年月日	同居・別居の別	住所 (別居の場合のみ記入)
1					年 月 日		
2					年 月 日		
3					年 月 日		
4					年 月 日		
5					年 月 日		

※ 「監護等」とは、児童扶養手当の支給資格者が母の場合には監護すること、父の場合には監護し、かつ生計を同じくすること、養育者の場合には養育することをいいます。
※ 18歳到達後最初の3月31日が令和5年3月31日以降である児童または令和5年3月時点において障害の状態にある20歳未満の者が対象です。
※ 「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第1項に定める障害の状態をいいます。申請時点において、障害の状態にある者で、18歳到達後最初の3月31日を経過し、かつ20歳未満である者については、障害の状態を確認するため、特別児童扶養手当証書を添付してください。

3. 配偶者および扶養義務者

同居する配偶者または生計を同じくする扶養義務者等がある場合は記入してください。

配偶者/扶養義務者	氏名	公的年金受給の有無
配偶者		有・無
扶養義務者		有・無
扶養義務者		有・無

※ 扶養義務者とは、申請者と生計を同じくしている (または申請者が養育者である場合には申請者の生計を維持している) 申請者の父母、祖父母、子、孫等の直系血族をいいます。
(次ページも必ず御確認ください。)

4. 申請額・請求額

対象児童数	人	申請額・請求額	円
-------	---	---------	---

※ 給付金の対象児童の人数を記入してください。対象児童の人数は「2. 監護等児童」に記載された児童の人数になります。
※ 申請額・請求額は、対象児童1人当たり一律50,000円となります。(例) 対象児童数3人の場合: 50,000円 × 3人 = 150,000円

5. 児童扶養手当の支給要件 (令和5年3月分の児童扶養手当の支給要件に該当しているかについて確認するため、以下のいずれかに該当する児童を監護等しているかについて、該当する項目のチェック欄 [□] に『✓』を入れてください。)

※既に、児童扶養手当の支給資格について市の認定を受けている場合は不要です。

支給要件	
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻 (法律婚) を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻 (事実婚) を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父または母が死亡した児童
<input type="checkbox"/>	父または母が障害の状態にある児童
<input type="checkbox"/>	父または母の生死が明らかでない児童
<input type="checkbox"/>	父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
<input type="checkbox"/>	父または母がDV被害に関する保護命令を受けた児童
<input type="checkbox"/>	父または母が引き続き1年以上拘禁されている児童
<input type="checkbox"/>	母が婚姻によらないで懐胎した児童

※ 「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第2項に定める障害の状態をいいます。「父または母が障害の状態にある児童」を支給要件として申請される場合は、障害の状態を確認するため、障害年金に係る年金証書等を添付してください。
※ 「遺棄」とは、父または母が児童と同居しない状態で監護義務をまったく放棄している場合をいいます。

6. 受取方法 (希望する受取方法のチェック欄 [□] に『✓』を入れて、必要事項を記入してください。)

□ ア 公金受取口座 (原則、1. の申請・請求者の口座とします。) への振込みを希望
※マイナポータル等から公金受取口座の登録が必要
※振込先金融機関口座確認書類の添付は不要

□ イ 指定の金融機関口座 (原則、1. の申請・請求者の口座とします。) への振込みを希望
※振込先金融機関口座確認書類を添付して下さい (下欄を確認してください。)

【受取口座記入欄】

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (右詰めでお書きください。)	口座名義 (フリガナのみ)
1. 銀行 2. 金庫 3. 信組 4. 信連 5. 農協 6. 漁協 7. 信連連	本・支店 本・支所 出張所	1普通 2当座		※「1. 届出者」名義に限る。 ※通帳の表記に合わせてください。

※ゆうちょ銀行を選択された場合は、「振込用の店名・預金種目・口座番号 (7桁)」（通帳見開き下部に記載）を御記入ください。
※長期間入出金のない口座を記入しないでください。

□ ウ 窓口での現金支給を希望
※金融機関の口座がない方、金融機関から著しく離れた場所に住んでいる方など、どうしても口座による受け取りができない方が対象となります。本人確認資料を添付してください。

【誓約・同意事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れてください。)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)(以下「給付金(ひとり親世帯分)」という。)の支給要件に該当します。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)を受給済みではありません(受給していた場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返金します)。

給付金(ひとり親世帯分)の支給要件の該当性を審査するため、市が必要な住民基本台帳情報、税情報や公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求めることに同意します。

公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。

この申請書は、市において支給決定をした後は、給付金(ひとり親世帯分)の請求書として取り扱います。

市が支給決定をした後、届出書の不備による振込不能等の事由により、支払いが完了せず、かつ、令和6年2月29日までに市が申請・請求者に連絡・確認ができない場合に、給付金(ひとり親世帯分)が支給されないことに同意します。

給付金(ひとり親世帯分)の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や給付金(ひとり親世帯分)の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返還します。

既に他の都道府県等で給付金(ひとり親世帯分)を受給していた場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返還します。

提出書類

『低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)』(本書)

※ 必要事項を御記入ください。

『申請者・請求者本人確認書類の写し(コピー)』

※ 申請者・請求者の運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し(コピー)を御用意ください。

『受取口座を確認できる書類の写し(コピー)』(※「6. 受取方法」で「イ」を選択した場合に限る。)

※ 通帳やキャッシュカードの写し(コピー)など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分の写し(コピー)を御用意ください。

『児童扶養手当の支給要件を確認できる書類』

※ 戸籍簿または抄本を御用意ください(既に、児童扶養手当の受給資格について市の認定を受けている場合は不要です。)(「2. 監護等児童」および「5. 児童扶養手当の支給要件」において、障害の状態を確認する必要がある場合、確認するための書類を添付してください。)

『簡易な収入(所得)見込額の申立書』(別記様式第4号)

※ 申立てを行う収入(所得)に係る給与明細書、年金振込通知書等の収入額が分かる書類を添付してください。

マイナンバーカードがあれば、マイナポータルから簡単に公金受取口座を登録いただけます。登録は給付金の支給要件ではありません。

公金受取口座の概要及び登録はこちら



(公金受取口座制度とは)
国民の皆さまが給付金等の受取のための口座をデジタル庁に登録いただく制度です。今後の緊急時の給付金等の申請において、申請書への口座情報の記載や通帳の写しの添付等が不要になります。

4. 申請額・請求額

対象児童数	人	申請額・請求額	円
-------	---	---------	---

※ 給付金の対象児童の人数を記入してください。対象児童の人数は「2. 監護等児童」に記入された児童の人数になります。

※ 申請額・請求額は、対象児童1人当たり一律50,000円となります。(例)対象児童数3人の場合：50,000円 × 3人 = 150,000円

5. 児童扶養手当の支給要件(申請時点において児童扶養手当の支給要件に該当しているかについて確認するため、以下のいずれかに該当する児童を監護等しているかについて、該当する項目のチェック欄(□)に『✓』を入れてください。)

※既に、児童扶養手当の受給資格について市の認定を受けている場合は不要です。

支給要件	
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻(法律婚)を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父母が婚姻(事実婚)を解消した児童
<input type="checkbox"/>	父または母が死亡した児童
<input type="checkbox"/>	父または母が障害のある児童
<input type="checkbox"/>	父または母の生死が明らかでない児童
<input type="checkbox"/>	父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
<input type="checkbox"/>	父または母がDV被害に関する保護命令を受けた児童
<input type="checkbox"/>	父または母が引き続き1年以上拘禁されている児童
<input type="checkbox"/>	母が婚姻によらないで懐胎した児童

※「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第2項に定める障害の状態をいいます。「父または母が障害のある児童」を支給要件として申請される場合は、障害の状態を確認するため、障害年金に係る年金証書等を添付してください。

※「遺棄」とは、父または母が児童と同居しないで監護義務をまったく放棄している場合をいいます。

6. 受取方法(希望する受取方法のチェック欄(□)に『✓』を入れて、必要事項を記入してください。)

ア 公金受取口座(原則、1. の申請・請求者の口座とします。)への振込みを希望

※マイナポータルから公金受取口座の登録が必要

※振込先金融機関口座確認書類の添付は不要

イ 指定の金融機関口座(原則、1. の申請・請求者の口座とします。)への振込みを希望

※振込先金融機関口座確認書類を添付して下さい(下欄を確認してください。)

【受取口座記入欄】

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (左請記でお書きください。)	口座名義(フリガナのみ) ※「1. 届出事項」名義に限る ※通帳の表記に合わせてください。
金融機関コード	1. 銀行	本・支店 水・支所 出張所	1普通	
	2. 金融			
	3. 信組	支店コード	2当座	
	4. 信連			
	5. 農協			
	6. 協同			
	7. 信連連			

※ゆうちょ銀行を選択された場合は、「振込用の店名・預金種目・口座番号(7桁)」「通帳見開き下部に記載)を御記入ください。

※長期間入出金のない口座を記入しないでください。

ウ 窓口での現金支給を希望

※金融機関の口座がない方、金融機関から著しく離れた場所に住んでいる方など、どうしても口座による受け取りができない方のみが対象となります。本人確認資料を添付してください。

家計急変者用

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) 申請書(請求書)

支給市区町村: 草津市 市長宛

市 受付印

裏面の【誓約・同意事項】に誓約・同意の上、申請します。

1. 申請・請求者

氏名	生年月日	現住所
氏名	年月日	年月日

公的年金受給状況

受けることができる(種類:)	受けることができない(種類:)
支給停止(種類:)	支給停止(種類:)
受けることができない	受けることができない

※「公的年金」とは、「請給年金(遺族基礎年金、遺族厚生年金および遺族共済年金を含む。)、老齢年金(老齢基礎年金、老齢厚生年金および遺族共済年金を含む。)、障害年金(障害基礎年金、障害厚生年金および障害共済年金を含む。)、母子年金」、「恩給」等をいいます。

※「受けることができる」とは、現に受けているとき、申請中であるときまたは申請すれば受けることができる状態にあるときをいいます。

2. 監護等児童

申請時点において、児童扶養手当の支給要件に該当する児童について記載してください。

No.	氏名	続柄	性別	障害の有無	生年月日	同居・別居の別	住所(別居の場合のみ記入)
1					年月日		
2					年月日		
3					年月日		
4					年月日		
5					年月日		

【監護等】とは、児童扶養手当の受給資格者が母の場合には監護すること、父の場合には監護し、かつ生計を同じくすること、養育者の場合には養育することをいいます。

※18歳到達後最初の3月31日が令和5年3月31日以降である児童または申請時点において障害の状態にある20歳未満の者が対象です。

※「障害」とは、児童扶養手当法施行令第1条第1項に定める障害の状態をいいます。申請時点において、障害の状態にある者で、18歳到達後最初の3月31日を経過し、かつ20歳未満である者については、障害の状態を確認するため、特別児童扶養手当証書等を添付してください。

3. 配偶者および扶養義務者

同居する配偶者または生計を同じくする扶養義務者等がいる場合は記入してください。

配偶者/扶養義務者	氏名	公的年金受給の有無
配偶者		有・無
扶養義務者		有・無
扶養義務者		有・無

※ 扶養義務者とは、申請者と生計を同じくしている(または申請者が養育者である場合には申請者の生計を維持している)申請者の父母、祖父母、子、孫等の直系血族をいいます。

(※ページ必ず御確認ください。)

【誓約・同意事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れてください。)

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)(以下「給付金(ひとり親世帯分)」という。)の支給要件に該当します。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)を受給済みではありません(受給していた場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返金します)。

給付金(ひとり親世帯分)の支給要件の該当性を審査するため、市が必要な住民基本台帳情報、税情報や公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求めることに同意します。

公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。

この申請書は、市において支給決定をした後は、給付金(ひとり親世帯分)の請求書として取り扱います。

市が支給決定をした後、届出書の不備による振込不能等の事由により、支払いが完了せず、かつ、令和6年2月29日までに市が申請・請求者に連絡・確認ができない場合に、給付金(ひとり親世帯分)が支給されないことに同意します。

給付金(ひとり親世帯分)の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や給付金(ひとり親世帯分)の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返還します。

既に他の都道府県等で給付金(ひとり親世帯分)を受給していた場合には、給付金(ひとり親世帯分)を返還します。

提出書類

『低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)』(本書)

※ 必要事項を御記入ください。

『申請者・請求者本人確認書類の写し(コピー)』

※ 申請者・請求者の運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し(コピー)を御用意ください。

『受取口座を確認できる書類の写し(コピー)』(※「6. 受取方法」で「ア」を選択した場合に限る。)

※ 通帳やキャッシュカードの写し(コピー)など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分の写し(コピー)を御用意ください。

『児童扶養手当の支給要件を確認できる書類』

※ 戸籍簿または抄本を御用意ください(既に、児童扶養手当の受給資格について市の認定を受けている場合は不要です。)(「2. 監護等児童」および「5. 児童扶養手当の支給要件」において、障害の状態を確認する必要がある場合、確認するための書類を添付してください。)

『簡易な収入(所得)見込額の申立書』(別記様式第4号)

※ 申立てを行う収入(所得)に係る給与明細書、年金振込通知書等の収入額が分かる書類を添付してください。

マイナンバーカードがあれば、マイナポータルから簡単に公金受取口座を登録いただけます。登録は給付金の支給要件ではありません。

公金受取口座の概要及び登録はこちら



(公金受取口座制度とは)
国民の皆さまが給付金等の受取のための口座をデジタル庁に登録いただく制度です。今後の緊急時の給付金等の申請において、申請書への口座情報の記載や通帳の写しの添付等が不要になります。

様式第4号(第7条第3項関係)

簡易な収入額の申立書(申請者本人用)
【公的年金給付等受給者】

○「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒に御提出ください。
○申請者と生計を同じくする扶養義務者などの方がいる場合は、その方の前々年の年間収入額も勘案して支給を決定しますので、「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」も併せて御提出ください。
○下記にある④の【要件】を満たす場合に支給の対象となります。

Table with columns for '金額' (Amount) and '注意事項' (Notes). Rows include '養育費[A]', '給与収入[B]', '事業収入または不動産収入[C]', '年金相当収入[D]', '年金収入[a]', and '児童扶養手当相当額[b]'.

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額早見表(月額)

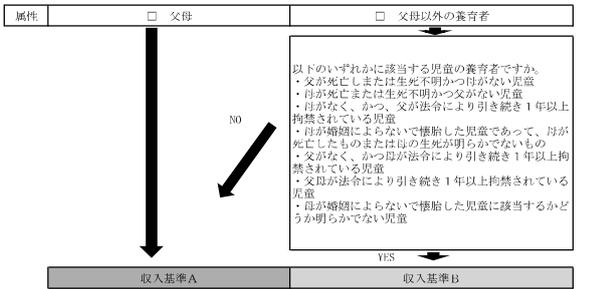
Table showing '令和2年12月31日時点での児童数' (Number of children as of Dec 31, 2020) and '支給額(月額)' (Benefit amount (monthly)).

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに36,600円(月額)を加算してください。

Table for '前々年(令和3年1月～令和3年12月)の年間収入の合計額を御記入ください。' (Total annual income for the two years before).

(次ページに続きます)

③要件に該当するか確認してください。
(1)以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。



(2)申請者と生計を同じく養っている親族(児童含む)または養っている親族以外の児童(令和3年12月31日時点で扶養を行っている者)の氏名を御記入ください。【A】

Tables for '収入基準Aの方' (Criteria A) and '収入基準Bの方' (Criteria B) listing family members.

(3)(2)で御記入いただいた方の人数にチェックをしてください。

Tables for checking the number of people under criteria A and B to determine the applicable income standard.

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額を御記入ください。

(4)要件に該当するかの計算を行ってください。

Calculation table for determining eligibility based on income criteria i, ii, and iii.

一【要件】②の年間収入額が収入基準額を下回っていること。
※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】(各項目のチェック欄)に【✓】を入れていただき、氏名を御記入ください。

Confirmation section with checkboxes for '要件' (Requirements) and '確認事項' (Confirmation items), followed by a signature line.

簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)
【公的年金給付等受給者】

○「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」、「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」と一緒に御提出ください。
○申請者と生計を同じくする扶養義務者などの方がいる場合は、その方の前々年の年間収入額も勘案して支給を決定しますので、本申立書(「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」)を御提出ください。
○下記にある④の【要件】を満たす場合に支給の対象となります。

①令和5年2月28日時点で申請者と生計を同じくしていた方の属性にチェック(☑)してください。

Form for checking family attributes: 父母, 祖父父母, 子, 孫, 曾祖父母, 曾孫, 兄弟姉妹, 配偶者.

②①で選択した方の前々年(令和3年1月～令和3年12月)の年間収入の内訳を御記入ください。

Table for reporting annual income breakdown for the two years before, including '給与収入[a]', '事業収入または不動産収入[b]', and '年金収入[c]'.

※上記以外の収入については記載不要です。

Table for '前々年(令和3年1月～令和3年12月)の年間収入の合計額を御記入ください。' (Total annual income for the two years before).

④①の方が生計を同じく養っている親族(令和2年12月31日時点で扶養を行っている者)の氏名を御記入ください。【A】

Tables for listing family members under criteria A and B.

(次ページに続きます。)

⑥④で御記入いただいた人数にチェックをしていただき、要件に該当するかの計算を行ってください。

Table with columns for number of people (人数), basic amount (基準額), and conditions (要件チェック). Includes a calculation for the number of people (④) and a table for the number of people (人数) and basic amount (基準額).

※6人以上の場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額を御記入ください。

→【要件】③の年間収入額が収入基準額を下回っていること。
※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名を御記入ください。)

□【要件】に該当します。 □収入額が分かる書類(原簿証明書や年金額決定通知書等)を提出しています。

□給付金の支給要件の該当性等を審査するため、市が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公開等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。

□本申立の内容に相違ありません。

年 月 日

申請者氏名

扶養義務者氏名

簡易な所得額の申立書【公的年金給付等受給者】

○「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」の【要件】または「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」の【要件】を満たさなくても、以下の【所得要件】を満たせば支給の対象となります。

★所得で申し立てたい方の氏名を記載の上、その方の申請者からみた属性にチェック(□)してください。
氏名 属性 □本人 □父 □母 □祖父 □子 □孫 □祖母 □父兄 □兄弟姉妹 □配偶者

以下、上記の氏名の方についての必要な情報を記入してください。
A 「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」の②または「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」の③の金額を御記入ください。

Table for annual income (年間収入見込額) with columns for income type and amount.

Table for tax-exempt amounts (控除等) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

Table for tax-exempt amounts (前々年分) with columns for category and amount.

I 要件に該当するが確認してください。

(1) 以下のどちらか当てはまる方を選択してください。

Form with checkboxes for '簡易な収入額の申立書(申請者本人用)収入基準Aの方' and 'その他の方'.

(2) 「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】と同じ人数にチェックしてください。

Table for checking conditions (チェックしてください) with columns for number of people (人数) and basic amount (基準額).

※6人以上の場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額を御記入ください。

※6人以上の場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額を御記入ください。

(3) 「簡易な収入額の申立書」(申請者本人用または扶養義務者等用)【☆】を用いて計算を行ってください。

Table for calculation (計算) with columns for selected basic amount (選択した基準額) and calculation results.

→【所得要件】Hの年間所得見込額が所得基準額より低いこと

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名を御記入ください。)

□【所得要件】に該当します。 □控除額が分かる書類(原簿等)を提出しています。(前ページのD欄に記入した場合のみ)

□給付金の支給要件の該当性等を審査するため、市が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公開等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。

□本申立の内容に相違ありません。

年 月 日

申請者氏名

扶養義務者氏名

○「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒に御提出ください。

※上記にある【要件1】および【要件2】の両方を満たす場合に支給の対象となります。
※申請者と生計を同じにする扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

①下記にチェック(✓)してください。

□食費等の物価高騰の影響により、家計が急変しました。

→【要件1】①にチェックが入っていること。

※申請者または申請者と生計を同じにする以下の方が食費等の物価高騰の影響で、家計が急変した場合にチェックしてください。
・申請者の父母、祖父母、子、孫などの直系血族または兄弟姉妹
(※)申請者本人が児童の父または母の場合は、これらの方が申請者と同居していることが原則となります。
※上記の申請者の生活を経済的に支えている方がいる場合には、「簡易な収入見込額の申立書(扶養義務者等用)」も併せて御提出ください。

②申請者の令和5年1月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳およびその合計額を御記入ください。

Table for monthly income breakdown (収入の内訳) with columns for category (Category) and amount (Amount).

※上記以外の収入については記載不要です。

※児童扶養手当相当額見込(月額)

Table for child support allowance (児童扶養手当) with columns for number of children (申請日時点での児童数) and amount (支給額(月額)).

※5人以上の場合は、1人増えるごとに3,050円(月額)を加算してください。

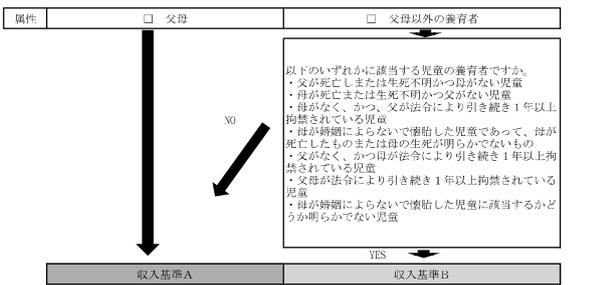
③の収入合計額を12倍した金額を御記入ください。

Table for annual income (年間収入見込額) with columns for category and amount.

一扶養親族が1人以上の場合には、③が366万円未満であれば【要件2】を満たすため、④の記載は不要です。

(次ページに続きます)

④要件に該当するか確認してください。
 (1) 以下のフローチャートにより、収入基準を選択してください。



(2) 申請者が生計を同じく養っている親族または養っている親族以外の児童の氏名を御記入ください。【女】

収入基準Aの方				収入基準Bの方			
フリガナ	該当する場合は◎または○	フリガナ	該当する場合は○				
氏名	16歳以上23歳未満の親族(◎)	氏名	70歳以上(配偶者以外)の親族				
1		1					
2		2					
3		3					
4		4					
5		5					

(3) (2)で御記入いただいた方的人数にチェックをしてください。

(2)の人数にチェックしてください	収入基準額	(2)の人数にチェックしてください	収入基準額
✓ 人数		✓ 人数	
0人	3,114,000円	0人	3,725,000円
1人	3,850,000円	1人	4,200,000円
2人	4,125,000円	2人	4,675,000円
3人	4,400,000円	3人	5,150,000円
4人	5,075,000円	4人	5,625,000円
5人	5,550,000円	5人	6,100,000円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに175,000円を加算した金額を御記入ください。

(4) 要件に該当するかの計算を行ってください。

i (3)で選択した基準額	円	i (3)で選択した基準額	円
ii (2)の◎の数×150,000円	円	ii (2)の○の数×60,000円	円
iii (2)の○の数×100,000円	円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
収入基準額 (i + ii + iii)	円	収入基準額 (i + ii)	円
年間収入見込額 (表面の◎)	円	年間収入見込額 (表面の◎)	円

一【要件2】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。
 ※表面の【要件2】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名を御記入ください。)

□【要件】に該当します。 □ 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。

□ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時的収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。

□ 本申立の内容に相違ありません。

年 月 日 申請者氏名

簡易な収入見込額申立書(扶養義務者等用)
 【家計急変者】

①「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」、「簡易な収入見込額申立書(申請者本人用)」と一併に御提出ください。
 ②下記にある【要件】を満たす場合に支給の対象となります。
 ※申請者本人の年間収入見込額も調査して支給を決定します。

①申請者と生計を同じくする方の属性にチェック(☑)の上、名前を御記入ください。

□ 父母 □ 祖父母 □ 子 □ 孫 □ 曾祖父母 □ 曾孫 □ 兄弟姉妹 □ 配偶者

氏 名

②令和5年1月以降の任意の月の収入(1か月)の内訳およびその合計額を御記入ください。

収入内訳	令和 年 月												注意事項
	給与収入【a】	事業収入または不動産収入【b】	年金収入【c】										
給与収入【a】													※給与収入がある場合に御記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類を御提出ください。
事業収入または不動産収入【b】													※事業収入または不動産収入がある場合に御記入ください。 ※転売などの収入額が分かる書類を御提出ください。
年金収入【c】													※公的年金収入がある場合に御記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類を御提出ください。
収入合計額【a + b + c】													※太枠の収入額の内訳を御記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。 ×1.2

③②の収入合計額を1.2倍した金額を御記入ください。

年間収入見込額

④Dの方が生計を同じく養っている親族の氏名を御記入ください。【女】

フリガナ	該当する場合は○	フリガナ	該当する場合は○
氏名	70歳以上(配偶者以外)の親族	氏名	70歳以上(配偶者以外)の親族
1		1	
2		2	
3		3	

⑤④で御記入いただいた人数にチェックをしていただき、要件に該当するかの計算を行ってください。

④の人数にチェックしてください	基準額	【要件チェック】	
✓ 人数		i 左側で選択した基準額	円
0人	3,725,000円	ii ③の○の数×60,000円	円
1人	4,200,000円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
2人	4,675,000円	収入基準額 (i + ii)	円
3人	5,150,000円		
4人	5,625,000円	年間収入見込額 (③)	円
5人	6,100,000円		

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに175,000円を加算した金額を御記入ください。

一【要件】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。
 ※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。
 (次ページに続きます。)

【確認事項】(各項目のチェック欄(□)に『✓』を入れていただき、氏名を御記入ください。)

□【要件】に該当します。 □ 収入額が分かる書類(給与明細書や年金額改定通知書等)を提出しています。

□ 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時的収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。

□ 給付金の支給要件の該当性等を審査するため、市が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公開等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。

□ 本申立の内容に相違ありません。

年 月 日

申請者氏名

扶養義務者氏名